

[ 横浜市民ギャラリー ]  
**平成 29 年度業務報告及び収支決算**  
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体]

※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業 ○：共催事業 を示します。  
 ※ 文中の達成指標欄において、  
 □：定量的指標 ■：定性的指標 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市西区宮崎町 26-1
構造・規模	鉄筋コンクリート 4 階建(地下 1 階～地上 4 階)
敷地・延床面積	建築面積 824.12㎡、延床面積 3,428.44㎡
開館日	平成26年10月10日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体
代表団体所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表団体代表者	理事長 澄川 喜一
代表団体設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

第 3 期指定管理期間の 2 年目にあたる 29 年度について、管理運営や事業とも初年度の経験や蓄積を生かしながら下記の 3 つの基本方針に沿って取組みました。結果きめ細やかなサービスや幅広い企画が、利用率や入場者数の増加に繋がり、市民の“主体的な文化芸術活動の拠点”としての存在感が一層高まりました。

【基本方針】

1 文化芸術活動拠点としての機能の強化

ジャンルの幅を広げた事業の実施や、市民が企画に参加できるような取組みを行い、多くの方達が輝きを持って文化芸術活動を行う機会を多く設けました。

2 市民文化活動や創造活動に対する支援の強化

昨年度に引き続き、貸展示室業務を中心とした市民の創造活動のサポートを行いました。迅速で丁寧な応対を心がけ、リピーターの増加に繋げました。

### 3 次世代を担う人材の育成の強化

横浜市民ギャラリーならではの子ども事業や若手アーティスト支援について計画通りに実施し、次世代育成のための取組みを充実させました。

#### 【質の高い施設運営及び管理の実施】

3つの基本方針を支えるために、経験豊富なスタッフが、芸術面や運営面で施設利用者へ丁寧なアドバイスを行うほか、文化施設管理での高い実績を持つ共同事業体が、構成員としての強い責任を持ち、入館者が安心して創作や鑑賞に励める施設環境を提供しました。

## (2) 29年度の業務の方針及び達成目標の総括

### 【全体業務について】

共同事業体がそれぞれの専門知識を発揮できる体制で取組みました。常に情報を共有し、課題があれば迅速に対応するなど共同事業体ならではの相乗効果の高い施設運営を行いました。

#### ① 事業について

展覧会事業や講座事業とも予定通りに実施いたしました。28年度の事業結果を鑑みた上で、新しい企画を打ち出し、結果、目標値を上回る参加者数を獲得することが出来ました。伊勢山地区に移転して3回目(初回は1965年)の開催となる次世代育成事業「横浜市こどもの美術展」は定着し、入場者数が年々増加する一方で、展示スペースの確保が課題です。

#### ② 運営について

オープン時から心がけている丁寧なお客様サービスを引き続き実施しました。次回の利用に繋げるようきめ細やかな対応やサポートは、アンケート結果からもその効果が伺えます。横浜市との協議により、貸展示室の運用変更を行い、次年度からの利用率を高める試みを実施しました。

#### ③ 管理について

専門職員による施設管理を実施しました。常に施設の利用状況に注意を払いながら、効率性は保ちつつ快適な空間をお客様に提供しました。またIPMについても、学芸員、設備担当職員、IPM業務委託業者と密な情報共有を行いながら、美術施設としての高い機能を維持しました。

#### ④ その他について

横浜市の文化施設として、市の主導するアーツフェスティバルに積極的な参加をしました。29年度は「ヨコハマトリエンナーレ」と「フォトヨコハマ」の関連事業を打ち出したほか、広報協力等でも寄与しました。また逆に、「ヨコハマトリエンナーレ」や「フォトヨコハマ」のお客様が横浜市民ギャラリーの事業に訪れるなど、相乗効果が高まりました。

## 4 業務の取組と達成指標

### (1) 事業について

#### ア 発信性のある自主事業の実施について

#### [目指す成果]

歴史ある展覧会を実施し、市民へ多様な美術の鑑賞機会を提供します。

#### [成果についての振り返り]

記憶や記録をテーマに制作する4組5名を「新・今日の作家展2017」で紹介しました。いずれの作家も、歴史に残る出来事に着眼し、それを各々の手法であらわした作品を展示し、時代をよく表した

充実した内容の展覧会となりました。ヨコハマトリエンナーレとあわせて鑑賞するなど市民をはじめ美術愛好家層に会場いただき好評を博しました。

「コレクション展 2018」では写真と素描で横浜の風景の変遷をたどり、特集展示で所蔵作家や横浜市民ギャラリーあざみ野の収蔵作品に焦点を当てるなど、コレクションの魅力を多角的に紹介したことで、市民をはじめ幅広い層の来場者をむかえ、盛況のうちに終了しました。両展覧会ともに作家インタビューを掲載するなどした充実した内容の小冊子を制作・無料配布し、鑑賞を深めるツールとして好評を博しました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●自主企画展の年1回以上の開催</p>	<p>現在のアートシーンを紹介する展覧会の実施</p> <p>□新・今日の作家展 2017</p> <p>□入場者数 4,500名</p> <p>□関連企画 2事業</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p>	<p>□新・今日の作家展 2017「キオクのかたち/キロクのかたち」(展示室1、B1)(9/22-10/9)</p> <p>「新・今日の作家展」第2弾となる本年度は、記憶や記録にフォーカスした作品を発表する若手作家4組5名を取り上げ、「キオクのかたち/キロクのかたち」を開催。</p> <p>出品作家:久保ガエタン・小森はるか+瀬尾夏美・是恒さくら・笹岡啓子</p> <p>□入場者数 4,579名</p> <p>□関連企画5事業6回実施(9/23×2、9/24×2、9/30、10/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・是恒さくらパフォーマンス『ありふれたくじら』を読む(9/23、9/24)出演:是恒さくら</li> <li>・クロストーク「継承のかたち」(9/23) 出演:小森はるか+瀬尾夏美、山本唯人(青山学院女子短期大学助教、社会学・空襲研究)</li> <li>・対談「1,2,3,太陽!」(9/24) 出演:久保ガエタン、山川冬樹(現代美術家、ホーメイ歌手)</li> <li>・クロストーク「爆心地の写真」(10/1) 出演:笹岡啓子、倉石信乃(明治大学教授、写真史)、小原真史(映像作家)</li> <li>・学芸員によるギャラリートーク(9/30)</li> </ul> <p>□顧客満足度 4.5</p>
<p>●収蔵作品を活用した展覧会の年1回以上の開催</p>	<p>横浜市民ギャラリーの所蔵作品を紹介する展覧会の実施</p> <p>□コレクション展2018</p>	<p>□コレクション展2018「写真と素描でたどる横浜1950-1980年代を中心に」(展示室1、2)(3/2-3/18)</p> <p>横浜を主題に、戦後1950-1970年代に撮影された写真と、1979年の横浜開港120周年に開催した「横浜百景展」にあわせ制作された素描、1988</p>

<p>●「今日の作家展」のWEB公開を目的としたアーカイブの実施</p> <p>●収蔵作品等の積極的な公開とアーカイブの実施</p> <p>●横浜市民ギャラリーあざみ野との企画連携</p>	<p>□入場者数 3,500名 □関連企画 2事業</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>■「今日の作家展」の未整理の記録の整理</p> <p>□関連作家等へのインタビューの実施：インタビュー実施1名</p> <p>□収蔵作品の作家をピックアップし、インタビューの実施：インタビュー実施1名</p> <p>□横浜市民ギャラリーあざみ野との企画連絡会議の実施と、「現代美術」というくくりでの展覧会をリレー展として開催し、観覧者が桜木町ーあざみ野を回遊することを目指す。：1事</p>	<p>年に横浜と上海の友好都市提携15周年を記念した「横浜市美術展・横浜百景」の際に撮影された写真、約150点を展示し、異なる視点・フレーミングで描き写された作品を通して、横浜の風景の移り変わりをたどりました。また「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」、「漫画家・ヒサクニヒコが描いた横浜」の2つの特集展示を行い、横浜市民ギャラリーコレクションの多様性に光をあてました。</p> <p>□入場者数 5,965名 □関連企画 4事業6回(3/3、3/10、3/11、3/17、3/18)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストトーク「ヒサクニヒコの横浜談議」(3/3)、出演：ヒサクニヒコ</li> <li>・横浜市民ギャラリー2館 学芸員によるギャラリートーク(3/11)</li> <li>・鑑賞サポーターによるトーク(3/10、3/17)</li> <li>・ヒサクニヒコ ギャラリートーク(2回)(3/18)</li> </ul> <p>□顧客満足度 4.6</p> <p>■「今日の作家展」の開催一覧および各展覧会概要をホームページで公開しました。</p> <p>□4組5名実施(久保ガエタン・小森はるか+瀬尾夏美・是恒さくら・笹岡啓子)し、許諾を得られた3組4名分のインタビュー映像を「新・今日の作家展2017」の会場で上映、webで公開しました。</p> <p>□2名(ヒサクニヒコ、浜口タカシ)実施し、「コレクション展2018」の会場で上映、webで公開、小冊子にテキストを掲載しました。</p> <p>■横浜市民ギャラリーあざみ野との企画連絡会議を実施し、現代美術の展覧会をリレー展という形で開催し、ヨコハマトリエンナーレを盛り上げました。</p> <p>□「新・今日の作家展2017『キオクのかたち/キロクのかたち』(9/22-10/9)、「あざみ野コンテンツポララー vol. 8『渡辺豪 ディスロケーション</p>
--	--	---

<p>● インターン制度の発足</p>	<p>業実施</p> <p>■ 「コレクション交換展」の共同開催：30年度の実施に向け検討</p> <p>■ 学芸員や教育普及者、実技指導者を目指している学生を対象としたインターン制度の発足：希望に応じて受け入れます。</p>	<p>『dislocation』』（10/7-10/29）のリレー展</p> <p>■ 30年度実施を検討していましたが、今年度のテーマが両館ともにコレクション交換展に相応しなかったことから、年度を繰り上げて実施し、それぞれのコレクション展において、お互いのコレクションを紹介しました。横浜市民ギャラリーでは特集展示「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を行い、横浜市民ギャラリーあざみ野のコレクションの中から、カメラ・オブスクーラやカメラ・ルシーダ、19世紀後半の風景写真などを展示し、写真と絵画の関係を探りました。会期中に行った2館の学芸員によるギャラリートークでは、各々のコレクションの魅力を紹介しました。</p> <p>■ 3組23名を受入れました。</p> <p>5月に武蔵野美術大学で美術館設計を学ぶ学生20名を対象に、横浜美術館・横浜市民ギャラリーあざみ野・横浜市民ギャラリーの3館のアトリエを中心に施設見学を実施しました。また、2月に横浜市民ギャラリーあざみ野で受け入れた八洲大学1名の博物館実習のうち1日を担当したほか、3月には中学2年生2名の職業体験を受け入れました。</p>
<p>● 横浜市の文化事業との積極的な連携</p>	<p>□ 「ヨコハマトリエンナーレ」に寄与する事業を展開：1事業</p>	<p>□ 2事業実施</p> <p>・ 「新・今日の作家展2017 キオクのかたち/キロクのかたち」関連イベント クロストーク「継承のかたち」（アトリエ）（9/23）</p> <p>出演：小森はるか(映像作家)+瀬尾夏美(画家、作家)×山本唯人(青山学院女子短期大学助教、社会学・空襲研究)、入場者：53名(再掲)</p> <p>ヨコハマトリエンナーレ2017出品作家でもある瀬尾夏美を含む3名を講師に迎え、出来事を語り継ぐ方法についてクロストークを開催。</p> <p>・ ヨコハマトリエンナーレ2017応援プログラム 「B1コンサート-桑田歩-」（展示室B1）（8/11）</p> <p>入場者：119名(完売)、出演：桑田歩、曲目：J.S.バッハ／無伴奏チェロ組曲第1番ト長調B</p>

	<p>□「フォトヨコハマ 2018」との連携：1 事業</p>	<p>WV1007、他</p> <p>NHK交響楽団首席代行者の桑田歩によるチェロ独奏コンサート。コンサートはインターネットによる同時生配信を実施した結果、当日の視聴件数が384件あり、横浜市民ギャラリーから上質のアートを発信しました。</p> <p>□ 4 事業</p> <p>フォトヨコハマの開催に合わせ、大人のためのアトリエ講座では写真家を講師に迎え、写真を撮り始めた経緯から木村伊兵衛写真賞受賞、そして現在にいたる活動まで、作品をプロジェクションしながらお話しいただきました。また、コレクション展 2018 若手支援としてサポートした2つの展覧会もフォトヨコハマのパートナーイベントにエントリーし、フォトヨコハマに寄与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「レクチャー『写真を撮ること』」(アトリエ) (2/10) 講師：原美樹子(写真家)、参加者数 100名、顧客満足度 4.1</li> <li>・横浜市民ギャラリーコレクション展2018「写真と素描でたどる横浜1950-1980年代を中心に」(展示室1、2)(3/2-3/18)(再掲)</li> <li>・YCAG ARTIST INCUBATION PROGRAM2018「薄膜と空白」(B1)(2/7-2/12) 出品作家：藤本涼(美術家/写真家)、多和田有希(アーティスト)、入場者：257名</li> <li>・YCAG ARTIST INCUBATION PROGRAM2018「漂白する私性 漂泊する詩性」(B1)(2/28-3/4) 出品作家：遠藤惇也(アーティスト)、小野峰靖(写真作家)、関川航平(アーティスト)、千葉大二郎(アーティスト)、中村達哉(ダンサー)、堀内悠希(アーティスト)、廖震平(アーティスト)、入場者：494名</li> <li>・フォトヨコハマへの協力として、民間画廊にフォトヨコハマへの参加を呼びかけました。「画廊散歩」では1～3月号で写真展をクローズアップして掲載し、フォトヨコハマを盛り上げたほか、「ア</li> </ul>
--	---------------------------------	---

<p>●鑑賞サポーターの育成及び活用</p>	<p>□コレクション展におけるサポーターの活用</p>	<p>ートヨコハマ」での広告掲載や、伊勢山皇大神宮内でのチラシ配架依頼等、広報面での協力も行いました。</p> <p>□育成研修4日間(1/13、1/20、2/3、2/17)を経て、コレクション展会期中に、サポーター・メンバー(ボランティア)13名が3/10、3/17の2日間に分かれ、各自が選んだ出品作品の魅力を語りました。またコレクション展会場ではサポーターが執筆したテキストを掲載した「鑑賞サポーターによる作品紹介シート」を配布しました。</p>
------------------------	-----------------------------	--

イ 次代を担う子どもの創造性教育事業の実施について

<p>[目指す成果] 作品発表の場、文化芸術の体験の場を提供し、様々な経験を得て、自立の仕方を学べる場とします。</p> <p>[成果についての振り返り] 年齢に応じたきめ細やかな造形プログラムを行い、参加者全員が自分の力で作品を完成させることができました。また、作品発表の場が一人ひとりの自信と成長につながる様子が見られました。造形や鑑賞活動を通じて子どもたちがアーティストや大人たちと触れ合うことで、他者を知り、新しい世界を広げていく機会とすることができました。「横浜市こどもの美術展」と「ハマキッズ・アートクラブ」を関連付けて開催することで、当館での子どものための取り組みを、広がりを持って伝えることができました。</p>		
<p>[取組内容] ●「横浜市こどもの美術展」の実施と新たな取組</p>	<p>[達成指標] □横浜市こどもの美術展 2017</p> <p>□入場者数 8,000名</p> <p>□出品数 2,300点</p> <p>□関連企画 1事業</p>	<p>[実施内容と達成状況] □横浜市こどもの美術展 2017(7/21-7/30)</p> <p>今年のテーマ「虫」や自由テーマの個性あふれる元気な絵が会場を埋め尽くし、チョウやカブトムシなどの紙工作に夢中の子どもたちの姿が見られました。子どもたちの表現の先輩であるアーティスト橋本典久+scopeの人間大の昆虫写真の展示と、約100種類の昆虫を拡大して見ることができるタッチパネル式のデータベースの展示も人気で、作品を通して身近な自然の造形美に触れられる機会となりました。</p> <p>□展覧会入場者数 16,650名、音楽会入場者数 791名、ボランティア参加者数 62名、計 17,503名</p> <p>□出品数 虫部門 764点、自由テーマ部門 2,413点 計 3,177点</p> <p>□関連企画 5事業 ・「超高解像度人間大昆虫写真[life-size]展」</p>

<p>●子どもの文化芸術の体験の場の提供と新たな取組</p>	<p>□顧客満足度 4.0 以上</p> <p>■&lt;テーマ部門&gt;の新設(28年度から継続実施) テーマ部門「動物を描こう」</p> <p>□自分でやってみる場の設置：ワークショップスペースの設置と、サポーター(ボランティア)の募集、育成 育成研修実施 年1回</p> <p>■アーティストとの交流の場の提供 アーティストの作品展示</p> <p>□ハマキッズ・アートクラブ 全10回</p> <p>□親子対象講座 年3回</p>	<p>(7/21-7/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由参加ワークショップ「紙工作で虫をつくろう！」(7/21-7/30)</li> <li>・ハマキッズ・アートクラブ「新発見！プラモ虫をつくろう！」作品展示(7/24-7/30)</li> <li>・夏のこども音楽会(7/29、7/30) 『ハマのJACK』スペシャルコンサート NHK交響楽団などで活躍する「ハマのJACK」のメンバーが、新曲「野毛山動物園の謝肉祭」ほか楽しい演奏をプレゼント。(7/29)</li> <li>・「ヤマハ ピアノ&amp;エレクトーン オンステージ」 両日2回、計4公演。ヤマハ音楽教室に通う子どもたちによる出張公演。(7/29、7/30)</li> </ul> <p>□顧客満足度 4.5</p> <p>■テーマ部門「虫」を設定。当初「動物」の設定を計画していましたが、動物をモチーフにして制作するアーティストは30年度に展示が実現する見込みとなったため、テーマを変更しました。</p> <p>■自由参加ワークショップ「紙工作で虫をつくろう」の場を設置し、連日開催しました。(7/21-7/30)</p> <p>□サポーター(ボランティア)を募集し、育成研修を7/1に実施しました。</p> <p>■「超高解像度人間大昆虫写真[life-size]展」(7/21-7/30)、橋本典久+scope、関連ワークショップ「新発見！プラモ虫をつくろう！」を実施。</p> <p>□ハマキッズ・アートクラブ 年齢に応じた様々なプログラムを提供し、活動を通じて子どもたちに「自分で考える」「自分で決める」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験する機会を提供しました。また参加する子どもの兄弟にも、状況に応じて別途プログラムを提供しました。</p> <p>□親子対象講座 年4回 (①4/23「トートバッグをつくろう」講師：三ツ山一志(造形教育家・主席エデュケーター)、参加者数18組41名、顧客満足度4.9、②5/27「えのぐであそぼう」講師：三ツ山一志(造形教育家・</p>
--------------------------------	--	---



<p>●横浜市の文化事業との積極的な連携</p> <p>●横浜美術館、</p>	<p><input type="checkbox"/>年長児対象講座 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>小学校低学年対象講座 年3回</p> <p><input type="checkbox"/>小学校高学年対象講座 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>ヨコハマトリエンナーレ関連講座 年1回</p> <p><input type="checkbox"/>参加者数 200名</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 4.0以上</p> <p><input type="checkbox"/>「ヨコハマトリエンナーレ」に寄与する事業を展開1事業実施</p> <p><input type="checkbox"/>3館で事業連携をし、講座</p>	<p>主席エデュケーター)、参加者数20組45名、顧客満足度4.9、③9/2「現代アーティストと一緒につくる＝かんがえる?」、講師：関川航平(アーティスト)、参加者数16組33名、顧客満足度4.7、④2/17「ぺったんアート」、講師：三ツ山一志(造形教育家・主席エデュケーター)、参加者数22組49名、顧客満足度4.9)</p> <p><input type="checkbox"/>年長児対象講座 年2回</p> <p>(①6/17「スーパーカーをつくろう」講師：三ツ山一志(造形教育家・主席エデュケーター)、参加者数21名、顧客満足度4.8、②11/12「スノーピンをつくろう」講師：大竹美佳(造形作家)、参加者数28名、顧客満足度4.9)</p> <p><input type="checkbox"/>小学校低学年対象講座 年3回</p> <p>(①8/20「うごくしくみでつくろう」、講師：大竹美佳(造形作家)、参加者21名、顧客満足度4.9、②9/2「現代アーティストと一緒につくる＝かんがえる?」、講師：関川航平(アーティスト)、参加者数16組33名、顧客満足度4.7、③1/27「スチロールアート」、講師：宇田川純子(アーティスト)、参加者数21名、顧客満足度4.8)</p> <p><input type="checkbox"/>小学校高学年対象講座 年2回</p> <p>(①7/23「新発見!プラモ虫をつくろう!」、講師：橋本典久(アーティスト)、参加者24名、顧客満足度4.9、②12/9「油絵に挑戦!」、講師：東麻奈美(アーティスト)、参加者数26名、顧客満足度4.8)</p> <p><input type="checkbox"/>ヨコハマトリエンナーレ関連講座 年1回</p> <p>(9/2「現代アーティストと一緒につくる＝かんがえる?」、講師：関川航平(アーティスト)、参加者数16組33名、顧客満足度4.7)(再掲)</p> <p><input type="checkbox"/>全講座の参加者数309名</p> <p><input type="checkbox"/>全講座の顧客満足度4.9</p> <p><input type="checkbox"/>「現代アーティストと一緒につくる＝かんがえる?」(9/2)、講師：関川航平(アーティスト)、参加者数16組33名、顧客満足度4.7(再掲)</p> <p><input type="checkbox"/>3館での連携講座は開催されませんでした、連</p>
---	---	---

<p>横浜市民ギャラリーあざみ野の子ども事業との連携</p>	<p>内容や対象年齢を考慮した講座の開催          企画会議：年1回実施  <b>■</b>3館での相互広報の体制作り：応募の落選者へ他館の講座を知らせる仕組みづくりを行う。(28年度から継続実施)</p>	<p>携に向けた企画会議を開催し、各館での講座内容やプログラム等の情報を共有しました。          企画会議：9月26日  <b>■</b>応募の落選者へ他館の講座を周知し、他館の事業への参加促進に寄与しました。</p>
<p>●親子講座の開催</p>	<p>□親子で造形を楽しむ講座を開催：年3回実施</p>	<p>□年4回(①4/23「トートバッグをつくろう」、講師：三ツ山一志(造形教育家・主席エデュケーター)、②5/27「えのぐであそぼう」、講師：三ツ山一志(造形教育家・主席エデュケーター)、③9/2「現代アーティストと一緒に作る＝かんがえる?」、講師：関川航平(アーティスト)、④2/17「ぺったんアート」、講師：三ツ山一志(造形教育家・主席エデュケーター))(再掲)</p>
<p>●教育機関等への支援の実施と新たな取組</p>	<p>□アートティーチャーズ・プロジェクトの取組みを共有し、&lt;美術の教師のための鑑賞レクチャー&gt;や&lt;教師のためのワークショップ&gt;等の造形・鑑賞の指導の実施：年1回実施</p>	<p>□年1回(1/23)          横浜市教育委員会との共催で美術教員に向けた研修を実施。研修では、教師の展覧会に対する興味を喚起し、授業等でも活用してもらおうという主旨で、当館主席エデュケーターが展覧会の魅力や、横浜美術館の常設展の入館料が土曜日は高校生以下無料であるといった美術施設の青少年に対する取組みについてのレクチャーを行いました。横浜市民ギャラリーでは学校の希望に応じた児童・生徒向けのギャラリートークが実施可能であることを伝えました。</p>
<p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』への協力</p>	<p><b>■</b>横浜市芸術文化教育プラットフォームへの協力          全面協力をする。</p>	<p><b>■</b>横浜市芸術文化教育プラットフォームへ全面協力しました。(全3校5回)          ①横浜市立小田小学校個別支援級7名(10/11「ヒミツの工作1」、11/22「ヒミツの工作2」、12/8「ヒミツの工作3」、講師：宇田川純子(アーティスト))          ②横浜市立鶴見小学校2年生110名(10/20「好きな色をつくっておおきな絵を描こう」、講師：宇田川純子(アーティスト))</p>

<p>●鑑賞教室等のアウトリーチ等の実施</p>	<p>□小学生、中学生、高校生を対象としたアーティストトークや鑑賞教室の実施</p> <p>1 事業実施</p>	<p>③横浜市立希望が丘中学校1年生 230名(12/7「立体アニメーションの魅力」、講師：井上仁行(アーティストユニットパンタグラフ代表))</p> <p>□3 事業実施(再掲)</p> <p>①横浜市立小田小学校個別支援級7名(10/11「ヒミツの工作1」、11/22「ヒミツの工作2」、12/8「ヒミツの工作3」、講師：宇田川純子(アーティスト))</p> <p>②横浜市立鶴見小学校2年生 110名(10/20「好きな色をつくっておおきな絵を描こう」、講師：宇田川純子(アーティスト))</p> <p>③横浜市立希望が丘中学校1年生 230名(12/7「立体アニメーションの魅力」、講師：井上仁行(アーティストユニットパンタグラフ代表))</p>
--------------------------	--	---

ウ 市民アーティストの創造活動支援の実施について

<p>[目指す成果]</p>		
<p>実技と教養の講座を開催し、展覧会事業に加え、“美術”をめぐるアプローチを多く提供して美術ファンのすそ野を広げます。</p>		
<p>[成果についての振り返り]</p>		
<p>これまでの人気講座(クロッキー、古典絵画、和菓子、手製本)を継続し、これまでのリピーターに加え、新たに現代日本画、模写などの実技、アニメーション美術監督、ヨコハマトリエンナーレ2017出品作家、気鋭の写真家によるレクチャーを加えたプログラムの実施により、初めて講座に参加する方も多く迎えることができました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●利用団体等が行う活動の支援の充実</p> <p>・利用団体への丁寧な相談・助言</p> <p>・利用団体の展覧会についての積極的な広報</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■事前打ち合わせを実施</p> <p>■&lt;ヨコハマ・アートナビ&gt;&lt;アートヨコハマ&gt;&lt;横浜画廊散歩&gt;での事前広報</p> <p>■ヨコハマ・アートナビへの情報提供</p> <p>□アートヨコハマ年3回発行</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■展覧会開催1か月前に事前打ち合わせを実施したほか、随時相談に応じ、展覧会終了までサポートしました。</p> <p>■利用団体の展覧会情報を横浜市民ギャラリーの情報誌やホームページ上に掲載するとともに、LOD化されているヨコハマ・アートナビへ情報提供するなど、積極的な広報支援に努めました。</p> <p>■ヨコハマ・アートナビへの情報提供を毎月実施しました。</p> <p>□アートヨコハマ年3回発行(6月、10月、2月)</p>

<p>●文化芸術の体験の場としての講座等の実施</p> <p>・文化芸術の体験の場としての講座等の実施</p>	<p>□横浜画廊散歩月1回発行</p> <p>■ホームページでの展覧会の紹介：会期初日にホームページ上で公開</p> <p>□大人のためのアトリエ講座 全10講座</p> <p>□つくって学ぶ 年7講座</p> <p>□きいて学ぶ 年3講座</p>	<p>□横浜画廊散歩月1回発行</p> <p>■横浜市民ギャラリーを利用する全ての団体の展覧会期初日に会場の様子を撮影し、ホームページで公開するとともにSNSでも画像やハッシュタグを付ける等の工夫をしながら発信し、広報に協力しました。</p> <p>□大人のためのアトリエ講座 全10講座</p> <p>□つくって学ぶ 年7講座</p> <p>(①5/11、5/18、5/25、6/1「クロッキーとデッサンをまなぶ-人体を描く」、講師：清野晃代(画家)参加者数18名、顧客満足度4.8、②5/13「日本の美・初夏を楽しむ和菓子」、講師：重田親人(和菓子しげた)、参加者数18名、顧客満足度4.9、③5/19、5/26、6/2、6/9、6/16、6/23「古典絵画をまなぶ-中世ヨーロッパの金箔技法」、講師：上野淑美(絵画修復士)、参加者数15名、顧客満足度4.7、6/7、6/14、6/21、6/28「日本画による表現-蝶を描く」、講師：荒木愛(日本画家)、参加者数14名、顧客満足度4.7、④11/17、11/24、12/1、12/8、12/15、12/22「模写とデッサン-巨匠の絵からヒントを探す」、講師：石田淳一(画家)、参加者数14名、顧客満足度4.6、⑤11/26「手製本でつくるあたらしい年の本革手帳」、講師：本間あずさ(製本家/「空想製本屋」店主)、参加者数21名、顧客満足度5.0)、⑦1/25、2/1、2/8、2/15「クロッキーをまなぶ-人体を描く」、講師：坂本龍幸(画家)、参加者数20名、顧客満足度4.7)</p> <p>□きいて学ぶ 年3講座</p> <p>(①4/29レクチャー「アニメーション美術監督の仕事」、講師：林孝輔(美術監督)、参加者数80名、顧客満足度4.6、②9/23「『新・今日の作家</p>
---	--	---

<p>・横浜市の文化芸術事業との関連講座の開催</p> <p>●美術情報の提供及び広報の充実</p> <p>・横浜美術館との情報連携の強化</p>	<p>□参加者数 200名</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>□「ヨコハマトリエンナーレ」に寄与する事業を展開： 1事業実施</p> <p>■広報連携の実施</p> <p>■横浜市の文化政策上重要な事業については、映像情報等を交えたコーナーを設置し、広報する：会期に合わせて紹介</p>	<p>展2017 『キオクのかたち/キロクのかたち』関連イベント クロストーク『継承のかたち』、講師：小森はるか(映像作家)+瀬尾夏美(画家・作家)、山本唯人(青山学院大学女子短期大学助教、社会学・空襲研究)、参加者数53名、顧客満足度4.1(再掲)、③2/10レクチャー「写真を撮ること」、講師：原美樹子(写真家)、参加者数100名、顧客満足度4.1)</p> <p>□参加者数 353名</p> <p>□顧客満足度 4.7</p> <p>□1事業実施(9/23)(再掲)</p> <p>『新・今日の作家展 2017 キオクのかたち/キロクのかたち』関連イベント クロストーク『継承のかたち』、講師：小森はるか(映像作家)+瀬尾夏美(画家・作家)、山本唯人(青山学院大学女子短期大学助教、社会学・空襲研究)、参加者数53名、顧客満足度4.1</p> <p>ヨコハマトリエンナーレ 2017 出品作家でもある瀬尾夏美を含む3名を講師に迎え、記憶と記録や、出来事を語り継ぐ方法についてクロストークを開催。</p> <p>■「画廊散歩」や「アートヨコハマ」では横浜美術館の事業をピックアップし、横浜市民ギャラリーあざみ野とはそれぞれの情報誌で相互に事業を紹介したほか、展覧会会期に合わせてチラシやポスター掲示を効果的な場所に設置し、SNSでの発信や、展覧会の告知動画をエントランス・送迎車内などでお互いに放映する等広報において連携しました。</p> <p>■エントランス・送迎車内モニターで「ヨコハマトリエンナーレ」をはじめとして、横浜美術館、横浜市民ギャラリーあざみ野などの展覧会告知映像を放映し、併せてチラシを配架して広報しました。</p>
---	---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ、SNS等の活用による充実しタイムリーな情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空室情報の更新 随時</li> <li>■ 展覧会情報 会期初日に展覧会情報を紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空き室情報を随時更新しました。</li> <li>■ 利用団体の展示作業が終了し次第、会場の様子を撮影し、ホームページ上で紹介しました。また、SNSでも展覧会を紹介しました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌の定期的な発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 定期的に情報誌を発行</li> <li>□ アートヨコハマ 発行回数：年3回</li> <li>□ ヨコハマ・ギャラリーマップ 発行回数：年1回</li> <li>□ 横浜画廊散歩 発行回数：月1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 定期的に情報誌を発行し、ホームページと連動させ、民間ギャラリーを含む横浜市内の展覧会情報を市民に提供しました。</li> <li>□ アートヨコハマ(再掲) □ 年3回(6月、10月、2月) □ 発行部数：10,000部/回 □ 配布箇所：約1,000箇所配布(学校ポスト約500箇所含む)</li> <li>□ ヨコハマ・ギャラリー・マップ □ 年1回(7月) □ 発行部数：15,000部 □ 配布箇所：約1,000箇所配布(学校ポスト約500箇所含む)</li> <li>□ 横浜画廊散歩 □ 発行回数：年12回(毎月発行) □ 発行部数：4,500部/月 □ 配布箇所：約220箇所(毎月)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民参画等の協働の推進による美術振興の担い手育成</li> <li>・ 文化芸術の情報場の強化及び集客キャンペーンの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 文化芸術の情報場として強化：情報コーナーの充実</li> <li>■ キャッチコピーの掲示による集客の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ チラシラックは常に整理に努め、展覧会の内容に合わせたチラシの配架を行い、各地の公募展の案内を集めた「公募要項コーナー」を作り、欲しい情報が入手しやすい工夫をしました。また、ポスターも配色やレイアウトに気を配りながら掲出しました。</li> <li>■ 「展覧会はどなたでも無料でご覧いただけます」というキャッチコピーを親しみやすいイラストとともに掲載した大型バナーを継続して館外入口に設置し、気軽に立ち寄ることのできる雰囲気 연출しました。また、外国語対応の一環としてホームページに英語の案内ページを作成したほか、館外の掲示板に英語の案内も掲出しました。</li> </ul>

<p>・横浜市民ギャラリーあざみ野との共同講座の実施</p>	<p>■「美術品の扱い方」、「展覧会の作り方」、「ワークショップのハンドリング」等の専門的な知識を得られる講座の実施：30年度以降の実施に向け検討</p>	<p>■30年度の実施に向けて検討しました。 (30年度に共同講座1講座を開催予定)</p>
<p>・自主企画展におけるボランティアの活用</p>	<p>□ボランティアの活用 年2回</p>	<p>□ボランティアの活用 年2回(再掲)</p> <p>・「横浜市こどもの美術展2017」自由参加ワークショップ「紙工作で虫をつくろう！」のサポート(7/21-7/30)、参加者延べ62名</p> <p>・「コレクション展2018」鑑賞サポーター(3/10、3/17)、参加者13名(事前研修は1/13、1/20、2/3、2/17)</p>

エ 創造活動を介した人々のネットワーク形成について

<p>[目指す成果]</p>		
<p>ネットワークの形成により市民施設、機関との関係性を育み、文化芸術活動を市民にとって身近なものとして受け取ってもらえるようにします。</p>		
<p>[成果についての振り返り]</p>		
<p>業務計画通り、様々な市民施設、横浜市教育委員会等の機関等と相互交流を行い、文化芸術活動を様々な形で市民に向けて発信しました。特に、情報誌「横浜画廊散歩」や「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」は、市内の美術関係者と連携しながら発行し、横浜市内の美術振興の一翼を担いました。また、横浜美術館の展覧会情報や、近隣他施設の情報を館内エントランスのモニターで放映するなど、他施設との広報連携を行うとともに来館者へ多彩な情報を伝える取組みを実施しました。</p>		
<p>[取組内容]</p>	<p>[達成指標]</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p>
<p>●関連施設、民間ギャラリー、利用団体、ボランティア、アーティスト、学校教育間での相互交流の実施</p>	<p>■関連施設とのネットワーク インターネット情報、印刷物相互配布 通年</p> <p>□民間ギャラリーとのネットワーク</p> <p>□横浜画廊散歩発行月1回</p> <p>□ヨコハマ・ギャラリー・マップ発行 年1回</p> <p>■展覧会のホームページへ</p>	<p>■関連施設とのネットワークを形成し、ホームページへ施設情報の掲載、展覧会情報や印刷物の相互提供を行いました。また近隣の公共施設5館(県立音楽堂・県立図書館・県立青少年センター・横浜能楽堂)で発足した5館長会に参加し、情報交換や課題共有を行いました。</p> <p>□民間ギャラリーとのネットワーク 情報誌の発行を通じて民間ギャラリーとのネットワークを形成しました。</p> <p>□横浜画廊散歩発行 月1回</p> <p>□ヨコハマ・ギャラリー・マップ発行 年1回(7月)</p> <p>■展覧会情報のホームページへの掲載実施した</p>

	<p>の掲載</p> <p>■利用団体との交流 貸館利用打合せ実施：通年</p> <p>□ボランティアの活用 横浜市こどもの美術展、コレクション展にて募集</p> <p>□アーティスト □アトリエ講座の実施 全10講座</p> <p>□展覧会の実施 年3回</p> <p>□学校教育 □アートティーチャーズ・プロジェクト 年1回</p> <p>□アウトリーチ 年1回</p>	<p>ほかSNSでも発信しました。</p> <p>■貸館利用打合せを通年で実施しました。</p> <p>□ボランティアの活用(再掲) 「横浜市こどもの美術展2017」「コレクション展2018」にて募集し、延べ75名が参加しました。</p> <p>□アーティスト(再掲) □アトリエ講座を全10講座実施しました。</p> <p>□展覧会を年3回実施しました。(「横浜市こどもの美術展2017」「新・今日の作家展2017」「コレクション展2018」)(再掲)</p> <p>□学校教育(再掲) □教育委員会共催で教員向け研修を年1回実施しました。(1/23)</p> <p>□アウトリーチ1事業(中学校1日)</p> <p>□横浜市芸術文化プラットフォームへ全面協力しました。3校5日間(小学校4日間、中学校1日)</p>
--	---	---

(2) 運営について

ア 創造活動の施設の提供について

<p>[取組内容]</p> <p>●公平・公正かつホスピタリティの高い貸出業務</p> <p>・多くの市民に利用してもらえるような公平・公正で、透明性の高い施設貸出</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□全展示室利用団体の抽選会 年1回</p> <p>□1～5室利用団体の抽選会 月1回</p> <p>■抽選会後の空き室 先着順</p> <p>■当日の利用申込み等の緊急時の、安全を確認した上での対応</p> <p>■利用団体からのアンケートを運営に活かすために職員内で情報共有する。</p> <p>□利用団体からのアンケート回収率 80%以上</p> <p>□施設スタッフ全員での定期的</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□全展示室利用(31年度)抽選日 3/25 抽選参加団体：15団体、決定団体：14団体</p> <p>□1～5室の利用 抽選日：毎月10日(実施)</p> <p>■空き室の申込は抽選終了後、毎月15日から先着順にて受け付けました。</p> <p>■今年度の実績はありませんでしたが、日常的に当日利用申込みへの対応可能な体制を取りました。</p> <p>■利用団体からのアンケートを職員内で情報共有しました。アンケートの意見を反映し、倉庫内掲示の工夫、施設の貸出し基準の変更など運営に活かしました。</p> <p>□利用団体からのアンケート回収率 96%</p> <p>□施設スタッフ全員での定期的なミーティング</p>
--	--	---



<p>・利用団体への丁寧な相談・助言</p>	<p>なミーティングの開催 月1回</p> <p>■ 展覧会開催・終了までの利用打合せ・展示作業及び展覧会期間中の運営サポートや広報面でも協力助言し、安心して展覧会が開催できるよう支援</p> <p>□ アンケート満足度 4.0 以上</p>	<p>月1回開催(4/4、5/2、6/6、7/4、8/1、9/5、10/3、11/7、12/12、1/5、2/6、3/5)</p> <p>■ 利用者の経験等を鑑みながら、きめ細やかな運営サポートを行い、利用者が安心して展覧会が開催できるよう支援しました。</p> <p>□ アンケート満足度 4.7</p>
<p>・利用団体の展覧会についての積極的な広報</p>	<p>■ 「アートヨコハマ」への開催情報の掲載</p> <p>■ 会場風景をホームページで紹介。展覧会情報をFacebook、twitterに掲載</p> <p>■ 利用者ごとの柔軟な対応</p>	<p>■ 「アートヨコハマ」のほか「画廊散歩」に開催情報を掲載し、ホームページでも公開しました。また、「ヨコハマ・アートナビ」へ情報提供を行いました。(再掲)</p> <p>■ 全ての展覧会の初日に会場風景を撮影し、ホームページで紹介したほか、展覧会情報をFacebook、twitterに画像やハッシュタグ付で掲載するなど、利用者の展覧会への広報支援を行いました。</p> <p>■ 利用者からの作品の展示に関する相談に対応したほか、必要に応じて作業を手伝うなど、利用者ごとに柔軟に対応しました。</p>
<p>・エリアを通じた施設周知</p>	<p>■ 近隣・コミュニティとのリレーションシップによりエリアを通じた施設周知を図る。</p> <p>近隣・コミュニティとの連絡会の開催</p>	<p>■ 町内会・伊勢山皇大神宮・横浜成田山・横浜市従会館と情報交換を密に行いました。</p> <p>・伊勢山皇大神宮への当館チラシラックの設置、町内会掲示板へのチラシ掲示を通じ、自主事業の周知にご協力いただきました。</p> <p>・近隣の公共施設5館(県立音楽堂・県立図書館・県立青少年センター・横浜能楽堂・横浜市民ギャラリー)で発足した5館長会に参加し、情報交換や課題共有を行いました。</p> <p>・地域のはりがみラリーに協力し、エリアを通じて施設周知を図りました。</p> <p>・野毛山動物園とも協力体制を築き、夏のこども音楽会「ハマのJACKスペシャルコンサート」では「野毛山動物園の謝肉祭」という弦楽曲を新たに作曲・上演し、告知動画も野毛山動物園の映像</p>

<p>●横浜市民ギャラリーあざみ野との連携による情報提供</p>	<p>■広報連携の実施</p> <p>■空き室情報の共有の実施</p>	<p>提供で実現しました。コレクション展においても、ヒサクニヒコ氏のインタビューを、氏の散歩コースでもある野毛山動物園で実施し、映像に収めることができました。</p> <p>■横浜市民ギャラリーあざみ野と相互に情報誌への掲載、チラシ配架、ポスター掲示、SNS発信を行ったほか、館内エントランスモニターでの告知映像放映等の広報連携を実施しました。</p> <p>■ホームページ上から空き室情報を見られるように実装しました。</p>
----------------------------------	-------------------------------------	--

イ 利用促進及び利用者サービスの向上及びアイデアノウハウの提案

<p>[取組内容]</p> <p>●適切な施設情報発信等による認知度向上への取組強化</p> <p>●空き室の有効利用等の利用促進のための取組の拡充</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■施設情報を適切に発信し、施設の認知度アップに取り組む。</p> <p>■ホームページでの施設情報周知</p> <p>■全展覧会を Facebook、twitter で紹介</p> <p>■利用案内による施設情報周知</p> <p>■積極的な施設貸出の営業</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ホームページやSNSで展覧会情報、自主事業情報、空き室状況、送迎車情報を発信し、施設の認知度アップに取り組みました。施設利用者が自ら発信できるよう、来場者向けWi-Fiの整備を行いました。</p> <p>■展示室・アトリエのバーチャルツアーをホームページに掲載したほか、PRタイムズなどのウェブメディアへの施設情報提供や、「画廊散歩」の空きスペースへの広告の形での施設情報の掲載、文書の送付状への一文追記などできる限り周知に努めました。</p> <p>■全展覧会を画像やハッシュタグ付きで Facebook、twitterで紹介しました。(再掲)</p> <p>■利用の手引きの配布を継続しました。アトリエの案内に特化したチラシを挟み込み、利用団体へ積極的に配布しました。</p> <p>■次年度の申込がない団体には積極的にお声掛けをしました。会期が迫った空き室については利用が可能な日を明記したチラシを作成し、美術系大学に送付したほか、館内にも配架しました。また、利用日より半年を切った空き室は、10名未満の団体や個人も利用できるように運用を変更することを横浜市に提案して実現しました。さらに、全展示室利用の抽選の枠を拡大す</p>
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホームページでの空き室情報の随時アップ</li> <li>■ 美術関係者・団体とのネットワーク拡大により個別に営業をかけられる体制の構築</li> <li>■ 抽選に外れた全利用者への代替案の提案</li> <li>■ 空室の直前割引の実施 利用日より6か月を切った展示室空室の50%減免での営業活動の実施</li> <li>■ 空室の個別の営業活動の実施：横浜近郊の美術系大学への利用案内</li> <li>■ アトリエに特化した広報物の作成：過去利用団体への利用案内(28年度から継続実施)</li> <li>■ 美術関連の学校、学部への周知・営業活動の実施</li> <li>■ 学生の芸術活動の育成</li> </ul>	<p>る運用の変更も行い、従来のお客様を大切にしながらも、より広くのお客様が利用しやすい環境を整えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホームページで空き室情報を随時アップし、最新の情報を提供しました。</li> <li>■ これまでの施設運営で蓄積した美術関係者・団体とのネットワークを利用し、利用促進のための営業を行い、2件の利用に結びました。 (2/7-2/12「薄膜と空白」(B1)、2/28-3/4「漂白する私性 漂泊する詩性」(B1))</li> <li>■ 抽選に外れた利用者に対しても、別日程での利用を提案するなど、施設の利用を促進するよう努めました。</li> <li>■ 利用日より6か月を切った展示室の空室を若手アーティストに対して50%減免で提供し、若手支援の機会としました。2つの展覧会はフotyヨコハマのパートナーイベントにもエントリーしました。(①2/7-2/12「薄膜と空白」(B1)、②2/28-3/4「漂白する私性 漂泊する詩性」(B1))</li> <li>■ 横浜近郊の美術大学の学生向けに展示室の空き室利用に関するチラシを作成し、アトリエの案内に特化したチラシとともに送付しました。その結果、美術大学の学生等の30年度の利用申込み(計8件)に繋がりました。</li> <li>■ アトリエの案内に特化したチラシを作成し、「利用の手引き」に挟み込んでみれなく配布しました。アトリエ利用促進の告知動画を引き続き館内エントランスモニターで放映し、エントランスの休憩スペースのテーブル上に広告を設置したほか、画廊散歩の空きスペースや送付文に利用案内の一文を追記するなど、宣伝に努めました。また、展示室利用の団体に積極的にアトリエでの勉強会利用をお勧めし、30年度の勉強会での利用申込に繋げることができました。</li> <li>■ 会期(利用日)が迫った空室の案内のチラシを作成して美術系大学に送付し、アトリエの利用に特化したチラシとともに送付しました。</li> <li>■ 酒井幸菜「第1回〈呼吸と観察〉」(1/26)</li> </ul>
--	---	--

	<p>展覧会主旨等を精査の上、共催事業として100%減免</p> <p>■ジャンルを超えたアーティストの創造活動支援</p>	<p>参加：酒井幸菜(ダンサー)、富井大裕(美術家)、近藤恵介(日本画家)、木村彩子(画家)。</p> <p>いずれも学生ではありませんが、アトリエの空き室活用及びジャンルを超えたアーティストの創造活動支援というカテゴリで共催しました。酒井氏から3人の若手美術家に声をかけ実現。若手ダンサーの動きを若手アーティストが美術の視点から捉えるという試みをアトリエで行い、その様子をtwitterで発信しました。</p> <p>■酒井幸菜「第1回〈呼吸と観察〉」(1/26)(再掲) 参加：酒井幸菜(ダンサー)、富井大裕(美術家)、近藤恵介(日本画家)、木村彩子(画家)。</p>
<p>●利用率の向上と目標指標の達成</p>	<p>29年度目標</p> <p>□来館者目標：25万人</p> <p>□展示室：86%</p> <p>□アトリエ：31%</p>	<p>□来館者：266,904人</p> <p>□展示室：98%</p> <p>□アトリエ：44%</p>
<p>●要望・苦情への適切な対応とその共有の実施</p>	<p>■職員ミーティングでお客様への対応の確認：随時</p> <p>■お客様へのアンケートの実施と共有：通年</p> <p>■苦情・要望の分析と共有：随時</p> <p>■速やかな対応と再防止のための情報共有：随時</p> <p>■横浜市との情報共有：随時</p> <p>■改善事例のホームページ公開：随時</p>	<p>■お客様対応の確認について日常的に議題にあげ、常に高いサービス実現のために職員一同取り組みました。</p> <p>■お客様へのアンケートは全職員に回覧、意見交換などを実施し、情報共有及びサービス向上に努めました。</p> <p>■苦情・要望については直ちに職員間で共有し、意見交換の上、対応等を決定して速やかに対応するとともに再発防止に取り組みました。</p> <p>■横浜市との情報共有を随時行いました。</p> <p>■30年度分の予約から展示室に空きがある場合は、個人や10人未満のグループも利用月の6か月前から先着順で利用申込みを可能とする貸出基準への変更などの改善事例をホームページで公開し、利用促進を図りました。</p>
<p>●市民の芸術活動の深化のための取組の実施</p>	<p>■市民が交流し、情報交換や知識収集のできる環境の整備：閲覧スペースの設置通年</p>	<p>■エントランスに机・椅子・チラシラック等を設置し、各地の展覧会情報を見ることのできるスペースとして通年設置しました。チラシラックは常に整理し、開催中の展覧会の内容に合わせ</p>

<p>●宮崎町親和会 (町内会)や伊勢山皇大神宮との協力体制構築</p>	<p>■町の美化や町内行事の参加だけでなく、一緒に施設のPR等を実施</p> <p>■宮崎親和会での事業周知：通年</p> <p>■伊勢山皇大神宮の参拝客へのアピール：通年</p> <p>□伊勢山皇大神宮とのエリア周知活動の取組：1事業</p>	<p>て配架ジャンルやレイアウトを工夫しました。</p> <p>■町の美化行事への参加だけでなく、町内会の掲示板にてチラシを掲示していただくなど、一緒に施設のPR等を実施しました。(再掲)</p> <p>■町内会掲示板へのチラシ掲示により、自主事業の周知に通年でご協力いただきました。(再掲)</p> <p>■伊勢山皇大神宮に当館のチラシラックを設置していただき、ポスター掲示とともに参拝客へのアピールを通年行いました。(再掲)</p> <p>□同時期に両エリアで貸館利用者の展覧会を開催した際に協力し、エリア周知に取組みました。また、「新・今日の作家展2017」期間中に、横浜商科大学・野毛街づくり協会主催「野毛まちなかキャンパス」で学生と社会人向けに1講座を担当したほか、神奈川県立青少年センターの「青少年フェスタ」に子ども向けワークショップコーナーで参加し、施設周知と地域活性化に貢献しました。</p>
<p>●送迎車の最適な運用の実施</p>	<p>■桜木町駅と横浜市民ギャラリー間で(車いす利用者等の利用にも配慮した)無料の送迎車を走行。原則、障がい者、高齢者を優先とするサービス。アクセス改善の一助とする。</p> <p>■展覧会に即して着実に運行</p> <p>■館内、ホームページで周知</p>	<p>■桜木町駅と横浜市民ギャラリー間で(車いす利用者等の利用にも配慮した無料の送迎車を走行しました。土日祝日だけではなく平日も20分間隔で運行したほか、9:45、18:00の便の増便を継続し、アクセス改善の一助としました。特に配慮が必要なお客様からのお問い合わせには柔軟に対応し、安心してご来館いただけるようにしました。</p> <p>■展覧会に即して着実に運行しました。</p> <p>■館内、ホームページ、野毛ちかみちの掲示板に乗り場や時刻表など掲載したほか、チラシとポケット時刻表を作成し、桜木町駅の観光案内所で配布していただくなど送迎車の周知に努めました。ホームページは送迎車ページによりアクセスしやすいように表記を変え、乗り場付近の画像を掲載する等、工夫した案内を行いました。また、月ごとの送迎車運行予定のホームページへの掲載、SNSでの発信のほか、「本日の時刻表」を館内に掲示し、よりこまやかにお知</p>

	■運行データの収集	らせしました。 ■運行データの収集を毎月行いました。
--	-----------	-------------------------------

ウ 市民ギャラリー収蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

<p>[取組内容]</p> <p>●収蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示の実施</p> <p>●資料情報、作品の貸出、展示、修復等の履歴について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■作品の定期的な点検確認</p> <p>■作品データの更新</p> <p><input type="checkbox"/>コレクション展実施</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページでの収蔵作品の紹介 12点</p> <p>■資料情報、作品の貸出、展示、修復等の履歴についてのデータベースを継続的に更新</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■作品の点検を12/12、12/13、12/17、1/4、1/8、3/22に行いました。年間を通じI P Mの手法に基づき収蔵庫や館内の環境をモニタリング、状況を把握しました。専門業者による殺菌を行うほか、館の職員による定期的な清掃、及び簡易殺菌を行うことで、環境向上に努めました。</p> <p>・作品修復2件、クリーニング6件、当館学芸員が行う自前クリーニング3件4点を実施。また詳細写真データ未撮影作品のうち54点の撮影を実施しました。</p> <p>■28年度に付番した番号に基づき作品画像データの整理を全作品(1287点)分行いました。また、作品外箱のラベルも新番号で貼り替えを行いました(約200点)。新カード作成に向け、データの入力に着手しました。将来的にホームページ上で作品検索が出来るような仕組みの実現に向けて、引き続き取組みます。</p> <p><input type="checkbox"/>コレクション展2018「写真と素描でたどる横浜1950-1980年代を中心に」(3/2-3/18)(展示室1、2)(再掲)</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページでの収蔵作品紹介 12点      緑川廣太郎《水門》、谷川晃一《森の記憶Ⅲ》、入江正巳《華虹門》、田嶋宏行《黄色い記憶》、田中岑《窓外風景 夜》、照井四郎《曼珠沙華の丘》、田辺謙輔《山手教会》、阪本文男《標本室の通風口》、鎌谷伸一《Pinetree No. 102》、川村信雄《横浜走馬灯》、浜口タカシ《滝頭車庫》、添田定夫《大倉山梅林》</p> <p>■資料情報、作品の貸出、展示、修復等の履歴についてのデータベースを継続的に更新しました。</p>
--	---	--

<p>のデータベースの継続的な充実及び台帳の継続的な管理と収蔵作品の公開の実施</p>	<p><input type="checkbox"/>コレクション展実施</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページでの収蔵作品の紹介 12点</p>	<p><input type="checkbox"/>コレクション展2018「写真と素描でたどる横浜 1950-1980年代を中心に」(3/2-3/18)(展示室1、2)(再掲)</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページでの収蔵作品の紹介 12点(再掲)      緑川廣太郎《水門》、谷川晃一《森の記憶Ⅲ》、入江正巳《華虹門》、田嶋宏行《黄色い記憶》、田中岑《窓外風景 夜》、照井四郎《曼珠沙華の丘》、田辺謙輔《山手教会》、阪本文男《標本室の通風口》、鎌谷伸一《Pinetree No.102》、川村信雄《横浜走馬灯》、浜口タカシ《滝頭車庫》、添田定夫《大倉山梅林》</p>
---	---	---

エ 運営組織の構築及び組織的な運営

<p>[取組内容]</p> <p>●適切な運営組織体制と人材の配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="375 873 869 1467"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>事業責任者</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>運営管理責任者</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>学芸・事業</td> <td>3人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>施設運営担当</td> <td>4人</td> <td>職能・派遣</td> </tr> <tr> <td>施設管理責任者</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>施設管理副責任者</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>警備チーフ</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>常勤アルバイト</td> <td>2人</td> <td>週4～5日</td> </tr> <tr> <td>短期アルバイト</td> <td>3人</td> <td>展示撤去・講座、開講日等</td> </tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制について</p> <p>ローテーション体制      主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室スタッフ 原則常時5名以上</li> <li>・設備管理スタッフ          開館時：設備1名、警備2名、清掃1名、4名以上          閉館時：警備1名</li> </ul>	項目	人数	備考	館長	1人	固有	事業責任者	1人	固有	運営管理責任者	1人	固有	学芸・事業	3人	固有	施設運営担当	4人	職能・派遣	施設管理責任者	1人	契約	施設管理副責任者	1人	契約	警備チーフ	1人	契約	常勤アルバイト	2人	週4～5日	短期アルバイト	3人	展示撤去・講座、開講日等	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="901 873 1428 1467"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>事業責任者</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>運営管理責任者</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>学芸・事業</td> <td>3人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>施設運営担当</td> <td>4人</td> <td>固有・派遣</td> </tr> <tr> <td>施設管理責任者</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>施設管理副責任者</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>警備チーフ</td> <td>1人</td> <td>契約</td> </tr> <tr> <td>常勤アルバイト</td> <td>2人</td> <td>週4～5日</td> </tr> <tr> <td>短期アルバイト</td> <td>4人</td> <td>展示撤去・講座、開講日等</td> </tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制について</p> <p>ローテーション体制      主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室スタッフ 原則常時5名以上配置しました</li> <li>・設備管理スタッフ          開館時：設備1名、警備2名、清掃1名          計4名以上配置しました          閉館時：警備1名</li> </ul>	項目	人数	備考	館長	1人	固有	事業責任者	1人	固有	運営管理責任者	1人	固有	学芸・事業	3人	固有	施設運営担当	4人	固有・派遣	施設管理責任者	1人	契約	施設管理副責任者	1人	契約	警備チーフ	1人	契約	常勤アルバイト	2人	週4～5日	短期アルバイト	4人	展示撤去・講座、開講日等
項目	人数	備考																																																																		
館長	1人	固有																																																																		
事業責任者	1人	固有																																																																		
運営管理責任者	1人	固有																																																																		
学芸・事業	3人	固有																																																																		
施設運営担当	4人	職能・派遣																																																																		
施設管理責任者	1人	契約																																																																		
施設管理副責任者	1人	契約																																																																		
警備チーフ	1人	契約																																																																		
常勤アルバイト	2人	週4～5日																																																																		
短期アルバイト	3人	展示撤去・講座、開講日等																																																																		
項目	人数	備考																																																																		
館長	1人	固有																																																																		
事業責任者	1人	固有																																																																		
運営管理責任者	1人	固有																																																																		
学芸・事業	3人	固有																																																																		
施設運営担当	4人	固有・派遣																																																																		
施設管理責任者	1人	契約																																																																		
施設管理副責任者	1人	契約																																																																		
警備チーフ	1人	契約																																																																		
常勤アルバイト	2人	週4～5日																																																																		
短期アルバイト	4人	展示撤去・講座、開講日等																																																																		

<p>●組織内の情報共有及び主要人材の能力担保</p> <p>組織的な施設運営のための職務の効率化や職員間の情報共有、業務改善のための会議を定期的実施すると共に、職員の能力担保のためOJT及び定期的な研修等を実施</p>	<p>□定例会の実施 月1回</p> <p>□研修 年2回</p>	<p>□定例会月1回実施 (4/4、5/2、6/6、7/4、8/1、9/5、10/3、11/7、12/12、1/5、2/6、3/5)</p> <p>□研修 年2回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜美術館子どものアトリエ個別支援学級学校プログラム研修参加(6/30-10/25)</li> <li>・専門人材研修(1/16、3/27)</li> <li>・「我が国の現代美術の戦略的海外発信に向けた関連資料の整理」成果報告会、施設管理者研修、マーケティング研修、救急救命講習、コンプライアンス研修、公共建築物保全研修、人権啓発研修、文化政策講座、ねずみ対策講習会、指定管理者事例発表、「2059FUTURE CAMP IN YOKOHAMA」研修、「CULTURE NIPPON」シンポジウム、全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会に参加し、職員間で情報共有しました。</li> </ul>
--	-----------------------------------	--

オ 本市の重要施策を踏まえた取組について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●個人情報保護についての取組</p>	<p>■個人情報は規定及びマニュアル等に基づく適切な取り扱い</p> <p>■具体的な業務についてルール化し、研修や定期的なミーティングでスタッフの個人情報取扱いに対する意識を高める。</p> <p>■メールやFAX、郵便物の送付時の個人情報漏えいの防止</p> <p>■個人情報の適切な管理の徹底</p>	<p>■個人情報は施錠しての保管やパスワード等、規定やマニュアル等に基づいた取り扱いを行いました。</p> <p>■コンプライアンス委員を中心に研修や情報共有のミーティングを実施しました。</p> <p>■ダブルチェックの徹底等、個人情報漏えいの防止に最新の注意を払いました。</p> <p>■個人情報の適切な管理を徹底しました。</p>
<p>●情報公開についての取組</p>	<p>■規定に基づく適切な対応</p> <p>■事業計画書及び事業報告書</p>	<p>■規定に基づき適切な対応を行いました。</p> <p>■事業計画書及び事業報告書を財団及び横浜市民</p>



<p>●人権尊重についての取組</p>	<p>の財団ホームページでの公開</p> <p>■全ての人に開かれた施設として人権に配慮した運営や接遇の実施</p> <p>■横浜市主催の人権講習に職員が参加し、職場内の研修についても人権尊重の意識を高める取組を実施する。</p> <p>□研修 年1回</p>	<p>ギャラリーホームページで公開しました。</p> <p>■研修への参加や事例の共有を通じて、人権に配慮した運営や接遇を実施しました。</p> <p>■全職員が横浜市主催の人権研修に分かれて参加し、報告書を通して人権について考え方等を共有し、職場内の研修についても人権尊重の意識を高める取組を実施しました。</p> <p>□研修 全職員が横浜市主催の人権研修及び職場内研修にそれぞれ1回ずつ参加した上で、研修内容を職員間で共有しました。</p>
<p>●環境への配慮に関する取組</p>	<p>■環境への負荷の低減を意識した省エネルギー化、省資源化</p> <p>■「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動方針」「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」に基づいた施設管理</p> <p>□施設内での空気環境測定の実施：1回/2か月</p>	<p>■全職員が環境への負荷の低減を意識し、業務に支障のない範囲で省エネルギー化、省資源化に努めました。</p> <p>■環境対策について横浜市の施策に沿った施設管理を行いました。</p> <p>□施設内での空気環境測定の実施 1回/2か月(5/10、7/5、9/13、11/8、1/10、3/7)</p>
<p>●市内中小企業優先発注についての取組</p>	<p>■物品購入・委託等は、特別な専門性の必要なもの等の理由がない場合を除き、横浜市の「物品・委託有資格者名簿」に登録された企業に発注</p>	<p>■業務に支障がない限り、横浜市の「物品・委託有資格者名簿」での登録業者に委託・発注しました。複数の振込口座を持つ相手先には横浜市内に本支店を持つ口座を優先的に使用しました。</p>

カ 諸室の利用内容について

<p>[取組内容]</p> <p>●開館について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□開館について</p> <table border="1" data-bbox="343 1780 758 1881"> <tr> <td>開館日数</td> <td>347日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>10時～18時</td> </tr> </table>	開館日数	347日	営業時間	10時～18時	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□開館について</p> <table border="1" data-bbox="893 1780 1308 1881"> <tr> <td>開館日数</td> <td>347日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>10時～18時</td> </tr> </table>	開館日数	347日	営業時間	10時～18時
開館日数	347日									
営業時間	10時～18時									
開館日数	347日									
営業時間	10時～18時									

●利用料金 について	□利用料金について				□利用料金について					
	展示室		面積 (㎡)	料金/日(円)		展示室		面積 (㎡)	料金/日(円)	
				入場 無料	入場 有料				入場 無料	入場 有料
	地下		170	5,000	10,000	地下		170	5,000	10,000
	1階		184	5,500	11,000	1階		184	5,500	11,000
	2階	全面	396	11,500	23,000	2階	全面	396	11,500	23,000
		A	225	6,500	13,000		A	225	6,500	13,000
		B	171	5,000	10,000		B	171	5,000	10,000
	3階	全面	396	11,500	23,000	3階	全面	396	11,500	23,000
		A	225	6,500	13,000		A	225	6,500	13,000
B		171	5,000	10,000	B		171	5,000	10,000	
全室		1,146	33,500	67,000	全室		1,146	33,500	67,000	
アトリエ		面積 (㎡)	区分利用料金		アトリエ		面積 (㎡)	区分利用料金		
			10:00~13:30	一日				10:00~13:30	一日	
			14:00~17:30					14:00~17:30		
平日	148.6	6,500	12,000		平日	148.6	6,500	12,000		
土日祝		7,500	14,500		土日祝		7,500	14,500		
駐車場	30分100円				駐車場	30分100円				

(3) 管理について

ア 施設、設備の維持保全及び管理

<p>[取組内容]</p> <p>●PDCAサイクルに基づく、計画的で高品質な施設管理業務の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■施設・設備について高品質で効率的な定期点検及び日常点検の実施</p> <p>■施設(建築物)、設備、及び備品の破損、不具合等の異常時には、利用者の安全を確保すると共に、施設の運営に支障をきたすことのないように適切な措置を講じ、速やかに報告する。</p> <p>□設備の過失による運転停止</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■経験豊富な専門職員が定期的および日常的に点検し、利用者の要望や急激な気候の変化に対応できるよう、施設設備の機能維持に努めました。</p> <p>■異常時には直ちに対応できるよう施設管理職員と運営職員間の連絡体制を整え、修繕履歴等のデータを共有・蓄積し、今後役に立つシステムにしました。</p> <p>□設備の過失による運転停止事故：0件</p>
--	---	---

<p>●施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施</p>	<p>止事故：0件</p> <p>■施設の状態を常に清潔に保ち、利用者が快適に利用できるような、管理の実施</p> <p>□アンケートでの快適評価 4.0以上</p> <p>□施設ハード面での過失による事故：0件</p>	<p>■施設の状態を常に清潔に保ち、利用者が快適に利用できるような管理を実施しました。展示室の壁面は当館スタッフによるリタッチを実施し、経費節減をしつつ展示壁をより良い状態で保つよう努めました。</p> <p>□アンケートでの快適評価 4.5.</p> <p>□施設ハード面での過失による事故：0件</p>
<p>●保守点検、備品管理、環境維持の実施</p>	<p>■設備管理業務日誌での日常点検の通年の記録と共有</p> <p>■備品の適切かつ良好な状態での管理</p> <p>■廃棄物の排出量を把握し、減量や分別・リサイクルに努める。</p>	<p>■日誌や点検記録は担当職員と管理職で回覧共有し、保管しました。</p> <p>■安全で清潔な施設管理のために備品を常に良好な状態に保ちました。</p> <p>■環境対策の一環として常に廃棄物の排出量を把握した上で、減量やリサイクルに努めました。</p>
<p>●収蔵庫の適切な管理の実施</p>	<p>■空調管理の実施</p> <p>■収蔵庫内および収蔵庫周辺の定期的な清掃</p>	<p>■美術品保護に必要な温湿度管理のためにデータを蓄積しながら空調管理を実施しました。</p> <p>■定期的に清掃し、美術品保護及び環境維持を行いました。</p>

イ 小破修繕への取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●効果的な小破修繕への取組</p>	<p>■施設管理に対する全職員の意識の向上</p> <p>■全職員及び横浜市との情報の共有</p> <p>■全修繕履歴の年度毎のデータ化</p>	<p>■情報共有のほか会議で取り上げるなど、施設管理に対する全職員の意識の向上に努めました。</p> <p>■修繕に関する施設内での情報共有のほか、モニタリングや設備トラブル報告書を通して横浜市と情報共有をしました。</p> <p>■全修繕履歴の年度毎のデータ化を行いました。</p>
<p>●保守管理の専門技術を活かした、迅速か</p>	<p>■保守管理の専門技術を活かした、突発修繕への速やかな対処</p>	<p>■豊富な経験を有する共同事業体の専門職員を中心に、突発的な修繕を必要とされる場合でも速やかに対処しました。</p>

<p>つ臨機応変な突発修繕への対応</p> <p>●多角的視点からの小破修繕箇所を早期発見</p>	<p>■定期点検や日常点検、横浜市の施設管理におけるガイドラインに沿った点検・報告等の実施による修繕必要箇所を早期発見・対応により施設の長寿命化を図る。</p>	<p>■横浜市の施設管理におけるガイドラインだけではなく、インターネットや他施設の情報など、多角的な知見を得て業務に対応しました。照明設備や空調設備等はこまめに状態を確認して管理し、不要な運転を減らすことで省エネだけではなく機械の長寿命化につなげました。</p>
---	--	---

ウ 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●事故防止体制・緊急時のための方針と対策</p> <p>・警備スタッフ及び機械警備による切れ目のない万全の警備体制の実施</p> <p>・関連法規の遵守</p> <p>・警備計画及び報告書の作成と適切な報告の実施</p>	<p>■警備専門スタッフが午前9時から午後7時まで1階受付及び警備室へ常駐し、それ以外の時間帯である午後7時から翌午前9時までは機械警備にて万全の警備体制を実施する。</p> <p>■業務の基準に基づき、警備の実施と利用者の入退出の適切な管理</p> <p>□過失による事故 0件</p> <p>■業務を遂行する上で、定められた関連法規等を遵守する。</p> <p>■警備計画書及び巡回警備計画書の作成とそれに基づいた警備業務の実施</p> <p>■警備スタッフによる警備</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■人的警備、機械警備とも業務計画通り実施し、施設の安全を図りました。また、運用状況に応じて適切な警備を行いました。</p> <p>■業務の基準に基づき、来館者が安心・安全に施設を利用できるよう警備や管理を行いました。</p> <p>□過失による事故 0件</p> <p>■「消防法」「警備業法」等、定められた関連法規等を遵守しました。</p> <p>■警備計画書及び巡回警備計画書に沿った警備業務を実施し、安全な施設運営に努めました。</p> <p>■業務日誌を毎日作成及び回覧し、情報共有を図り</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内外への防犯対策の実施</li> <li>・救急セットやAED等の設置と十分な研修の実施</li> <li>●インフルエンザ等の感染症対策</li> </ul>	<p>及び機械警備の業務日誌の作成と共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■警備スタッフによる、施設の駐車場だけではなく周辺道路への防犯対策の実施</li> <li>■救急セットやAEDの完備</li> <li>□AED取扱い研修 年1回実施</li> <li>■毎日のAEDのセルフメンテナンスチェックの結果の確認</li> <li>■職員による施設内巡回による衛生管理の徹底</li> <li>■インフルエンザ等の流行時における予防のための掲示の実施や消毒剤の設置</li> <li>■鳥インフルエンザへの留意と異常時の迅速な対応</li> <li>■汚物の処理にあたっての準備及び処理時の手袋・マスクの装着の徹底</li> </ul>	<p>ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■近隣の防犯対策の実施や交通状況への対処など、周辺道路に対しても対応し、地域の一員としての責務を果たしました。</li> <li>■救急セット及びAEDを完備しました。</li> <li>□AED取扱い研修 年1回実施(8/10)</li> <li>■毎日目視によるセルフメンテナンスチェック結果を確認しました。</li> <li>■衛生管理の意識を高く持ち、異常時には直ちに報告・対処できる体制にしました。</li> <li>■インフルエンザ等の予防のための掲示を実施し、消毒剤を設置しました。</li> <li>■発生件数はありませんでしたが、異常時には対応できるよう鳥インフルエンザに留意しました。</li> <li>■汚物の処理にあたっては処理キットを備え、処理時の手袋・マスクの装着を徹底しました。</li> </ul>
--	---	--

エ 防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急時の連絡体制・役割分担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■緊急時の対応を明確にし、緊急連絡網を作成し、市に提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■緊急時に迅速に対応できるよう緊急連絡網を作成し、市に提出しました。5館長会メンバーとして神奈川県立青少年センターの防災訓練に参加し、災害時の情報共有について5館の間でのより一層の協力体制を築きました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●平常時の防災対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■関連法規に基づいた届出等を行う。</li> <li>■危機管理マニュアルを作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■防火管理者を配置し、関連法規に基づいた届出等を行いました。</li> <li>■危機管理マニュアルを作成し、災害時に備えまし</li> </ul>

<p>●災害発生時の取組</p>	<p>成し、災害時には、マニュアルに沿った対応ができるようにする。</p> <p>■全スタッフへの普通救命講習や訓練を実施し、日頃から防災意識を高める。</p> <p>■危機管理マニュアルに基づき、災害時に来館者を安全に誘導できるようスタッフの消防訓練を行う。</p> <p>□消防訓練 年2回実施</p> <p>■自衛防災組織を設置し、継続的に防災訓練を行う。</p> <p>■町内会と防災関連の協議を行い、地域ぐるみの合同訓練等を提案することで地域社会での責務を果たす。</p> <p>■関連法令、条例、業務の基準に基づき、来館者の安全確保を最優先とし適切に対応</p> <p>■情報管理の一元化及び適切な報告を行う。</p> <p>■二次災害の発生防止措置の実施と、横浜市等との協議の上で適切な対応を行う。</p> <p>■訓練を通じ、全スタッフに対応の徹底を図る。</p> <p>□消防訓練 年2回実施</p>	<p>た。</p> <p>■全スタッフがAEDの操作や救命措置を行えるように訓練や講習を実施しました。</p> <p>■年2回それぞれ違う状況を想定し、災害時に安全に対応できるよう消防訓練を行いました。</p> <p>□消防訓練 年2回実施(8/10、2/8)</p> <p>■自衛防災組織を設置し、継続的に防災訓練を行いました。</p> <p>■町内会と定期的に会議を持ったほか、消火栓や器具などの設置場所を実際に確認するなど、有事に備えて責務を果たす体制を整えました。</p> <p>■災害は発生しませんでした。年に2回消防訓練をしたほか、地震発生時には館内点検を実施し、報告しました。</p> <p>■情報管理の一元化及び適切な報告を行うため日常的に館長への情報集約を実施しました。</p> <p>■消防訓練実施時に消防署員から災害発生に対する心構えや事例をお話いただき、2次災害発生防止措置を図ることを再確認しました。</p> <p>■それぞれ違う状況を想定した2回の訓練では、スタッフの役割を変えて実施し、全スタッフに対応の徹底を図りました。</p> <p>□年2回実施(8/10、2/8)</p>
<p>●帰宅困難者一時滞在施設と</p>	<p>■非常用簡易トイレ、飲料水、非常食、毛布等の備蓄</p>	<p>■災害は発生しませんでした。15人×3日分の非常用簡易トイレ、飲料水、非常食、毛布等の備蓄を</p>

<p>しての準備等の災害時の取組</p>	<p>■適切な情報収集による来館者や職員、施設の安全確保</p> <p>■災害鎮静後の危機管理マニュアルに基づき適切な対応と原状復旧体制の確保</p>	<p>整えました。</p> <p>■災害時には適切な情報収集を行うことをスタッフ内で確認しました。</p> <p>■災害鎮静後には危機管理マニュアルに基づき適切に対処し、原状復旧体制をとることをスタッフ内で確認しました。</p>
----------------------	---	--

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●利用率の向上による利用料金収入の増加への取組</p>	<p>□施設の利用率向上により安定した利用料金収入を得ることで経営の健全化に繋げる。</p> <p>29年度目標額 11,500,000円</p>	<p>□空き室の利用促進のために利用者への声掛けや利用案内のチラシを作成した結果、展示室は98%の高い利用率に繋がりましたが、利用料金実績は目標額に僅かに達しませんでした。</p> <p>29年度利用料金実績 11,434,430円(未達)</p>
<p>●周知等による駐車場の利用料金収入の増加への取組</p>	<p>□伊勢山皇大神宮等への周知活動の実施により駐車場の利用の増加を目指す。</p> <p>29年度目標額 1,160,000円</p>	<p>□伊勢山皇大神宮に駐車場の空き状況を提供し、参拝客への周知を行ったほか、警備スタッフが細目に空き状況を確認しながら、効率良く車両を受け入れました。</p> <p>29年度実績 1,395,100円</p>
<p>●助成金・協賛金・広告料収入の獲得</p>	<p>□助成金・協賛金の獲得</p> <p>29年度目標額 270,000円</p> <p>□広告料</p> <p>29年度目標額 440,000円</p>	<p>□助成金・協賛金の獲得</p> <p>助成金：芸術文化振興基金 1,572,000円 (資生堂、公益財団法人野村財団申請は不採択)</p> <p>現物協賛：ピアノ・エレキトーンレンタル及び運搬費、飲料2ケース</p> <p>□広告料</p> <p>29年度実績 455,000円</p>
<p>●周知等による講座料収入の増加への取組</p>	<p>□独自の事業周知の取組みに加え、財団の広報ネットワークや管理運営する美術系施設間と連携した周知等により事業参加者</p>	<p>□ホームページやSNSを利用した周知に加え、財団の広報ネットワークと連携したより広い媒体への周知や施設へのチラシ配架により、事業参加者数の増加を目指しました。</p>

<p>●自動販売機の販売収入の増加への取組</p>	<p>数の増加を目指す。 29年度目標受講料 □大人のためのアトリエ講座 1,220,000円 □ハマキッズ・アートクラブ 430,000円 □客層の嗜好に合わせた内容を販売することで販売収入の増加を目指す。 29年度目標額 300,000円</p>	<p>29年度受講料実績 □大人のためのアトリエ 1,319,000円 □ハマキッズ・アートクラブ 317,500円 □自動販売機納入業者が変更となりましたが、来館者数や来館者層を予測しながら販売内容を決定し、販売収入の増加を目指しました。 29年度実績 350,580円</p>
---------------------------	---	--

イ 経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●発注及び事務の効率化等による経費削減</p>	<p>■横浜市に準じた経理規定に基づいた、支出を最小限に抑える取組の実施  ■事務用品の再利用化の推進  ■広報物の発送の効率化による経費の削減  ■計画的な経理処理による手数料の削減</p>	<p>■入札や見積合等、支出を最小限に抑える取組を実施しました。また、コレクション展では、横浜美術館のフォトフレームや横浜市民ギャラリーあざみ野から展示ケースを借りることで経費を節減しました。  ■分別した上、裏紙利用など、資源の再利用に努めたほか、会議等で職員の節約に対する意識を高めました。  ■発送計画を立て、作業日を集中させるなど、広報物の発送の効率化による経費の削減を実施しました。  ■計画的な経理処理により手数料の削減を心がけました。</p>
<p>●適切な施設及び設備管理による経費削減</p>	<p>■施設・設備の効率的な運用による経費削減 ■施設・設備の現状把握と修繕計画による支出の平準化と修繕費の抑制 ■早期の修繕実施による長期における経費削減</p>	<p>■過年度のデータをもとに細やかに効率的に設備運転を実施しました。 ■日常的に共同事業体間の情報共有を密に行い、現状を把握したうえで計画的に修繕を行いました。  ■設備担当の日常点検だけでなく、全職員の意識を高め、不具合があれば迅速に報告・対処しました。</p>
<p>●職員の業務の効率化による</p>	<p>■職員会議や面談による職員の業務の効率化への意</p>	<p>■日常の勤務状況を踏まえた上で職員会議や面談により、職員の業務の効率化への意識統一を図りま</p>



<p>経費削減</p> <p>● 展覧会や講座等の事業にかかる経費削減</p>	<p>識の統一</p> <p>■ 業務の発注へのコスト意識及び職員の超過勤務削減による経費削減</p> <p>■ 作家や講師と協働での事業企画による経費削減</p> <p>■ 企業からの現物協賛の受入れ等による経費削減</p>	<p>した。</p> <p>■ 入札見積合わせ等、経理規程に基づきながら契約発注をしたほか、平素から超過勤務削減への職員間の意識を高め、業務に対する経費削減に努めました。</p> <p>■ 作家や講師に丁寧に事業の意義をつたえ共感していただく事で、経費の工夫など経済的にも協力していただきました。また、横浜美術館や横浜市民ギャラリーあざみ野と展覧会や講座で使用備品を貸し借りし、経費節減に努めました。</p> <p>■ 事業の趣旨を理解していただいたうえで、企業からの現物協賛などの協力を受けることができ、結果として経費の削減に繋がりました。</p> <p>・ピアノ・エレクトーンレンタル及び運搬費、飲料2ケース</p>
---	---	--

(5) PDCAサイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <p>● 日報及び月間事業報告書の作成・管理</p> <p>● 業務計画書及び業務報告書の作成・管理</p> <p>● 業務評価(モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施)</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 各種日報の作成</p> <p>■ 月報を作成しモニタリング時に提出</p> <p>■ 各日報、月報を適切に管理保管</p> <p>■ 業務計画書(次年度の業務計画、収支予算)を作成し横浜市に提出</p> <p>■ 業務報告書(前年度の業務報告及び利用実績、収支決算)を作成し横浜市に提出</p> <p>■ 定期的にモニタリングを実施し、横浜市に運営状況の報告</p> <p>■ 自己評価の実施</p>	<p>■ 各種日報を作成し、担当部署及び管理職に回覧、情報共有を図りました。</p> <p>■ 月報を作成しモニタリング時に提出しました。</p> <p>■ 各日報、月報を適切に管理保管しました。</p> <p>■ 業務計画書(次年度の業務計画、収支予算)を作成し横浜市に提出しました。</p> <p>■ 業務報告書(前年度の業務報告及び利用実績、収支決算)を作成し横浜市に提出しました。</p> <p>■ 横浜市の担当者と毎月1回のモニタリングを実施し、運営状況を報告しました。</p> <p>■ 自己評価を実施しました。</p>
---	---	--

(6) その他

ア 他施設等との連携について

[取組内容]	[達成指標]	
●保険及び損害賠償の取扱い	■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入	■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入しました。
●関係法令の順守	■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守	■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守しました。
●市及び関係機関等との連絡調整	■横浜市とのモニタリングを定期的開催	■横浜市とのモニタリングを定期的開催しました。(5/11、6/15、7/13、8/17、9/11、10/12、11/15、12/14、1/15、2/14、3/12、4/12)

【別紙】自主事業一覧

No	実施 時期	主催・ 共催・ 協力 等	事業名	会場	事業内容	入場者・ 参加者数 (人) (見込者数)	実施 回数
1	9/22- 10/9	主催	新・今日の作家展 2017「キオクのかたち/キロクのかたち」 [関連事業] ・パフォーマンス(9/23、9/24) ・クロストーク(9/23) ・対談(9/24) ・クロストーク(10/1) ・学芸員によるギャラリートーク(9/30)	展示室 B 1、1	出品作家：久保ガエタン、小森はるか+瀬尾夏美、是恒さくら、笹岡啓子	4,579 (4,500)	1 事業 関連事業 5 事業 6 回
2	3/2- 3/18	主催	横浜市民ギャラリーコレクション展 2018「写真と素描でたどる横浜 1950-1980 年代を中心に」 [関連事業] ・アーティストトーク(3/3) ・学芸員によるギャラリートーク(3/11) ・鑑賞サポーターによるトーク(3/10、3/17) ・ヒサクニヒコギャラリートーク(3/18 ※2回)	展示室 1、 2	所蔵作品を紹介する展覧会 [特集展示] 1「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」 2「漫画家・ヒサクニヒコが描いた横浜」	5,965 (3,500)	1 事業 関連事業 4 事業 6 回
3	7/21- 7/30	主催	横浜市こどもの美術展 2017 [関連事業] ・自由参加ワークショップ「紙工作で虫をつくろう！」 ・橋本典久+scope「超高解像度人間大昆虫写真[life-size]展」 ・「夏のこども音楽会」 「ハマの J A C K」スペシャルコンサート(7/29) 「ヤマハ ピアノ & エレクトーン オンステージ」(7/29、7/30)	展示室 B 1、1、2、 3	市内在住・在学の 12 歳以下の幼児・児童を対象とした無審査の公募展	16,650 (8,000)	1 事業 関連事業 4 事業 5 回
4	4月～ 2月	主催	ハマキッズ・アートクラブ	アトリエ	小学生以下の子どもを対象とした造形講座	309 (200)	10 講座

5	4月～ 2月	主催	大人のためのアトリエ講座	アトリエ	専門的な創作活動を体験する造形講座と、芸術文化各分野で活動している方を講師に招く聴講講座	353 (200)	10 講座 29 回
6	10-12 月	主催	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内	市内学校へアーティストが出向き、プログラムを実施	347 (-)	3校 5日間
7	1月	共催	アートティーチャーズプロジェクト	市内	横浜市教育委員会と共催で市内中学校美術科教員向けの研修会を実施	-	1回
8	2月	共催	YCAG ARTIST INCUBATION PROGRAM2018 ・2/7-2/12「薄膜と空白」(B1) ・2/28-3/4「漂白する私性 漂泊する詩性」(B1) (フォトヨコハマ 2018 パートナースhip事業)	展示室 B 1、1	・2/7-2/12「薄膜と空白」、出品作家：藤本涼、多和田有希 ・2/28-3/4「漂白する私性 漂泊する詩性」出品作家：遠藤惇也、小野峰靖、関川航平、千葉大二郎、中村達哉、堀内悠希、廖震平	-	2事業
9	通年	その他	広報事業「ギャラリーマップ」「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」の発行等	-	情報誌3種「ギャラリーマップ」「アートヨコハマ」「画廊散歩」の発行とホームページでの情報発信	-	-
10	通年	その他	コレクション管理	-	新収蔵庫の整備、所蔵品の点検・データ更新	-	-
11	8/11	主催	「B1コンサート-桑田歩-」(展示室B1) (ヨコハマトリエンナーレ2017<島と星座とガラパゴス>応援プログラム)	展示室 B 1	「ヨコハマトリエンナーレ2017<島と星座とガラパゴス>応援プログラム」として展示室B1で開催。コンサートはインターネットによる同時生配信を実施	119 (119)	1回

## 平成29年度 「横浜市民ギャラリー」 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	144,264,000		144,264,000	144,264,000	0	横浜市より
利用料金収入	12,660,000		12,660,000	12,829,530	△ 169,530	施設利用料、駐車場利用料
自主事業収入	1,650,000		1,650,000	1,894,000	△ 244,000	入場料、講座料
雑入	1,010,000	0	1,010,000	3,006,148	△ 1,996,148	
印刷代			0	48,740	△ 48,740	
自動販売機手数料	300,000		300,000	350,580	△ 50,580	
その他(助成金・協賛金・広告料等)	710,000		710,000	2,606,828	△ 1,896,828	
<b>収入合計</b>	<b>159,584,000</b>	<b>0</b>	<b>159,584,000</b>	<b>161,993,678</b>	<b>△ 2,409,678</b>	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>71,266,000</b>	<b>0</b>	<b>71,266,000</b>	<b>71,258,637</b>	<b>7,363</b>	
給与・賃金	58,671,000		58,671,000	58,419,869	251,131	
社会保険料	8,247,000		8,247,000	8,127,665	119,335	
通勤手当	1,559,000		1,559,000	1,592,458	△ 33,458	
健康診断費	80,000		80,000	127,021	△ 47,021	
勤労者福祉共済掛金	54,000		54,000	54,000	0	
退職給付引当金繰入額	2,655,000		2,655,000	2,937,624	△ 282,624	
<b>事務費</b>	<b>4,129,000</b>	<b>0</b>	<b>4,129,000</b>	<b>3,929,692</b>	<b>199,308</b>	
旅費	240,000		240,000	192,248	47,752	
消耗品費	752,000		752,000	727,699	24,301	
会議賄い費	60,000		60,000	2,679	57,321	
印刷製本費	350,000		350,000	215,322	134,678	
通信費	1,018,000		1,018,000	696,620	321,380	
使用料及び賃借料	121,000	0	121,000	607,448	△ 486,448	
横浜市への支払分	121,000		121,000	120,528	472	目的外使用料
その他			0	486,920	△ 486,920	コピー複合機賃借、AED賃借等(収支予算書では「リース料」の項目に計上)
備品購入費	100,000		100,000	602,652	△ 502,652	展示台等
図書購入費	120,000		120,000	38,334	81,666	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	13,030	36,970	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	156,000		156,000	151,114	4,886	
リース料	1,116,000		1,116,000	563,844	552,156	
手数料	0		0	82,702	△ 82,702	
地域協力費	36,000		36,000	36,000	0	
<b>事業費</b>	<b>15,000,000</b>	<b>0</b>	<b>15,000,000</b>	<b>17,726,373</b>	<b>△ 2,726,373</b>	
自主事業費	15,000,000		15,000,000	17,726,373	△ 2,726,373	
<b>管理費</b>	<b>57,148,000</b>	<b>0</b>	<b>57,148,000</b>	<b>52,816,679</b>	<b>4,331,321</b>	
光熱水費	10,500,000	0	10,500,000	6,914,503	3,585,497	
電気料金	7,500,000		7,500,000	4,359,432	3,140,568	
ガス料金	2,200,000		2,200,000	1,944,329	255,671	
水道料金	800,000		800,000	610,742	189,258	
清掃費			0	0	0	
修繕費	1,000,000		1,000,000	984,506	15,494	
機械警備費	389,000		389,000	388,800	200	
設備保全費	45,259,000	0	45,259,000	44,528,870	730,130	
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守	464,000		464,000	464,400	△ 400	
電気設備保守	825,000		825,000	325,296	499,704	電気設備3年次点検等
害虫駆除清掃保守	1,769,000		1,769,000	1,716,444	52,556	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	42,201,000		42,201,000	42,022,730	178,270	送迎車委託費、廃棄物処理等
共益費			0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>5,341,000</b>	<b>0</b>	<b>5,341,000</b>	<b>5,674,447</b>	<b>△ 333,447</b>	
事業所税	16,000		16,000	15,847	153	
消費税	5,300,000		5,300,000	5,629,600	△ 329,600	
印紙税	20,000		20,000	24,400	△ 4,400	
その他(電波使用料)	5,000		5,000	4,600	400	
<b>事務経費</b> (計算根拠を説明欄に記載)	<b>6,700,000</b>	<b>0</b>	<b>6,700,000</b>	<b>6,700,000</b>	<b>0</b>	
本部分	6,700,000		6,700,000	6,700,000	0	
当施設設分			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>159,584,000</b>	<b>0</b>	<b>159,584,000</b>	<b>158,105,828</b>	<b>1,478,172</b>	
差引	0	0	0	3,887,850	△ 3,887,850	